

ラオスにおけるマラリア排除への貢献

(医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS))

- 本プロジェクトでは、ラオス国内で流行するマラリアの排除を目指している。
- ラオスにおけるマラリアの診断は顕微鏡検査と簡易迅速診断キット※¹で行われていたが、近年、既存の方法で検出できない低密度マラリア原虫感染症例が報告されている。LAMP法を用いることで、適切な診断と迅速な治療が可能となる。
- ラオス政府が作成・公表するマラリア対策National Strategic Plan (2026~2030) に、本プロジェクトによる提言(低密度原虫感染症例の検出を支援・向上させるため、診断方法の一つとしてマラリアLAMP法・PCR法を使用)が反映された。これにより、ラオス保健政策・方針として、マラリア流行地域でLAMP法・PCR法を用いた診断・検出が行われることとなり、低密度マラリア原虫感染症の検出を可能とし、ラオスにおけるマラリア排除への貢献が期待できる。
- 現在、マラリアLAMP診断キット(栄研化学株式会社製造・販売)をラオスのマラリア流行地域の病院25ヶ所へ導入し、診断を行っている。

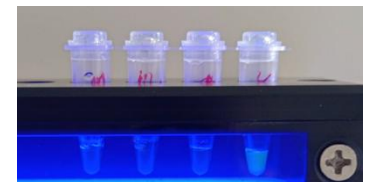
※¹ 血中のマラリア原虫抗原を検出するイムノクロマト法。原虫密度が低いと偽陰性が頻発する。

<参考>

- 課題名：革新的技術を活用したマラリア及び顧みられない寄生虫症の制圧と排除に関する研究開発
- 研究期間： 令和4年度から令和9年度
- 研究代表者：(日本) 国立健康危機管理研究機構 石上盛敏 室長
(ラオス) ラオス保健省ラオス国立パスツール研究所
Philippe Buchy 所長



マラリアLAMP法検査の様子



マラリアLAMP法検査結果